

# No.147 広島県安芸太田町（空き店舗再生支援）

地域力創造アドバイザー	尾崎 香苗氏（A717）
活用分野	2. 「まちなか再生」 空き地・空き家・空きビル・空き店舗等対策
活用期間（頻度）	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日 / 延べ活動日数54日（予定）
キーワード	# 地域商業の活性化 # 地域の担い手 # 起業・開業 # 魅力発掘 # 賑わい創出 # 他世代交流 # 伴走支援

## 【目的】

スーパーが閉店し生活が不便となった地域を守るため、空き店舗を活用し、新たな買物拠点をとる実験店舗を運営する。人口減少が進む本町において、生活の基盤となる「買い物拠点」の喪失は、人口減少を加速させる要因となる。

町内中心部の空き店舗を活用した実験店舗の運営により、生活基盤を支えるとともに、地域の活性化とコミュニティの推進を図る。行政、民間、地域住民の共創により空き店舗を復活させ、店舗を中心とした地域コミュニティを継続させることで、町全体の活力維持に貢献する。

## 【内容】

スーパー経営のノウハウを蓄積し、自走経営に向けたモデルケースを構築する

- 実験店舗運営
- スタッフ育成
- 移動販売事業
- 店内ワークショップ開催
- 持続可能な店舗運営を構築



（オープニング式典）

## 【成果（見込み）】

- 地域おこし協力隊を活用し、生活を支える店舗を再オープン
- オープン来場者数172人（目標100名）
- ワークショップ2回開催 参加者：クリスマスリースづくり10人 しめ縄づくり10人
- 地域高齢者サロンと連携した出張販売回数4回 来客数42名
- 生鮮品やお弁当生活雑貨を揃え、地域から求められる店舗の形を創出



（店内の様子）